

堅田浦 眞野のならび、北沖に出たるなり。

あふことは堅田の浦にひた網の目にもたまらぬわが泪かな

比良山 但高根共云 京より北國への道也、十二里也、京より丑のかたに高く見ゆる山也、麓の海

の汀に、白鬚明神御座也、比良の北のかたに、小松と云名所有、道因法師のうたに、

嵐吹ひらの高根のねわたしに、哀時雨、る神無月かな

馬島 郡の名也、小松より北のかた也、

玉村 志賀の郡といふ説あり、さもこそあらめ玉村といふ名所未詳、

うつろはで庭もせ白き初雪におなじ色なる玉むらの里 ○竹島、竹生島略

鹽津 海津 カイツ 鹽津と云より、北に海津と云所あり、近江の北也、越前へ行に、あらし山と云名所の

南の湖ぎはなり、鹽津は越前のさかい也、いぶきの麓也、

鹽津山打越くればわがのれる駒のつまづく妹こふらしも

あらし山雪げの空に成ぬればかいつの里に霞ふりつ、

### 東近江の分

信樂城 シガラキ 當國の南のはし、伊賀のかた也、金葉冬のうたに、隆源法師

都だに雪降ぬれば、まがらきの眞木の、杣山跡たえぬらん

田上川 タナカミ川 石山の東也、程ちかし

衣手の田の上川や、氷るらんみほの山風さえまさる也

山田渡 矢橋の渡、二所ともにちかき間にあり、東近江也、粟津の向也、打出より乗船して渡れ

ば、山田の渡りは近し、矢橋の渡は五十町計也、兩所の間十町也、山田矢橋の渡シ舟といふ、勢多

の橋を粟津よりまはれば、野路より、山田は北に當ル也、